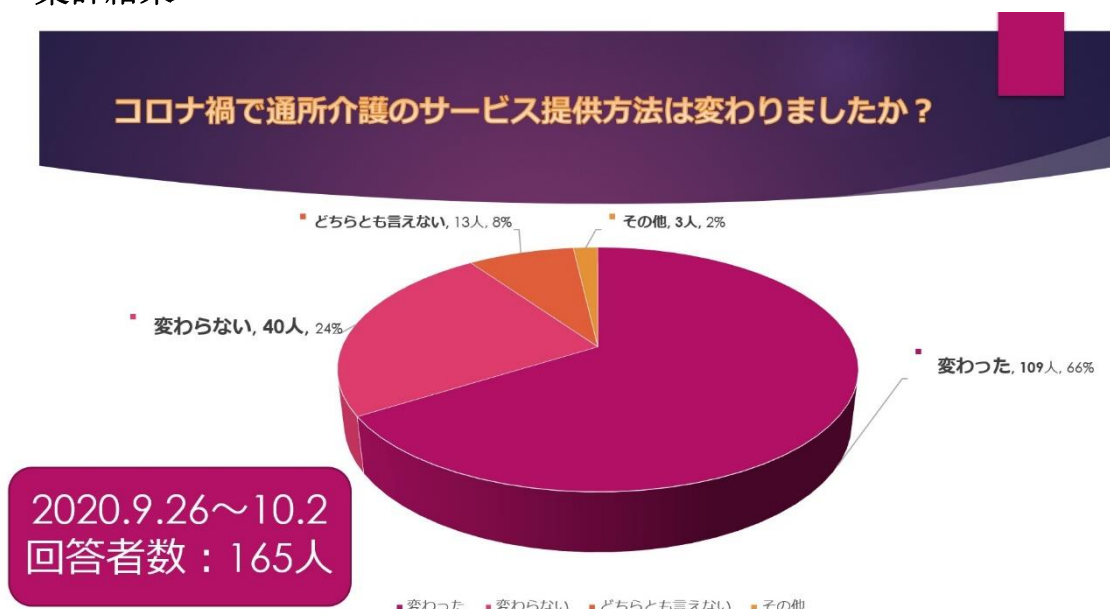


アンケート「コロナ禍で通所介護のサービス提供方法は変わりましたか？」
の結果発表（2020.9.26～10.2）回答総数：165 名

・集計結果



（変わったに寄せられたコメント一覧）

1	マスク、検温はもちろんですが、県外からご家族様が帰省されたら2週間やすんで頂く。うがい手洗いは通年しています。母体に施設が有るため、慎重です。単体の所は、県外との接触があっても体調におかわりなければOKの所も多くなりました。
2	利用者数:4.5月頃は、3割程減健康管理:乗車前に検温 家族の体温の記録依頼 風邪症状があれば軽症でも利用無し。利用者全員マスク着用←イタチゴッコテーブルにアクリル板 終日換気 手洗い アルコール消毒職員:全員マスク ゴーグル 等
3	外出訓練は当初自粛。現在少人数で行っているが人員配置に苦慮している。機能訓練・グループ活動は少人数に分け実施。行事（敬老会）は一同に集まるのではなく、少人数で毎日開催。手間も時間も費用も人員も増えた。
4	検温してからの利用定期的に消毒県外との往来のあった方への利用自粛のお願い
5	近隣の通所リハビリでクラスターが発生し、用心して通所を休みたいという利用者や家族が多く、通所から訪問サービスに切り替えました。

6	カラオケやレクリエーション、席の配置など配慮した。
7	レクの内容では、みんなで歌ヲ歌うことを中止とした。ご家族に、都心からの行き来があることがあれば、その利用者さまへは、一時的に利用を休んで頂くようにする。
8	営業日が月曜から土曜だったのが月曜から金曜に1日の店員が24名か10名になりました
9	対戦形式のレクリエーションをしていない。
10	1日の最大利用人数を減らして、感染対策を重視している。外出やボランティア受け入れを控えて、室内での楽しみ方を考えてやっているが限定的で、満足させてない。
11	スタッフの日常生活の見直し室内、車内消毒、全員マスク装着、換気乗車前の検温、頻回の手指消毒テーブル対面部分のビニールシートスクリーン設置などなど
12	送迎時に体温測定とマスク着用をお願いし、送迎完了後は車内消毒&しばらく風を通すようになりました。定員人数も減らしスペースを確保し、出勤スタッフもフルメンバーを避けるように。合唱などのレク時はマスク着用。机は常にパーテーションを置いてに。
13	テーブルにパーティション設置（利用者の前と横）、カラオケ禁止、集団レク禁止、入浴・集団体操の人数制限（数人程度）、新聞雑誌禁止。面白くないと辞める利用者もいます。
14	緊急事態宣言解除後に外出イベント（市内ショッピングモールでの買物）を企画していたが、実施の直前に地域内（他市町村）で陽性事例が確認された為、結果的に中止となった。
15	密を避けるために、利用者を制限している。送迎のさいの注意事項が多く、1回の乗車人数を減らさなければならない。
16	食事やおやつの際のソーシャルディスタンスの徹底や手指消毒、体温測定、マスク着用の義務化は、当たり前になりました。利用者様を楽しんでもらうイベント等も、少なくなりました。
17	マスク装着の徹底・物品消毒の頻度を増やす・検温回数の増加(ご自宅/利用中)・熱発時のご利用中止期間の延長・テーブル上の仕切りの設置・外出レクリエーションの中止、外部からの訪問や面会の制限
18	外出行事が無くなった。
19	ボランティア（囲碁、傾聴などの個人対応）、慰問、外出行事等が出来なくなり、楽しみの提供の内容が変わった。職員主体のレ

	クなどが増えた。
20	6人掛けのテーブル席を4人にした。テーブルを増やそうかと考えたが、利用者が減ったため、テーブルを買う必要はいまのところない。カラオケは位置を決め一定方向を向いて歌っている。ケアマネが積極的に動かなくなったため、新規利用者は少ない。
21	実習生やボランティアの慰問、外出レクなど制限している。
22	外出を制限。
23	カラオケや集団歌唱、音楽系ボランティアの来所を行わなくなった。その代わりに、センサーを用いたハンドアクションのみで楽しめるゲームを行っている。送迎時検温や席配置の工夫など標準的なコロナ対策を行うようになった。
24	利用者サービスについては、脱衣場やホールでのレク時の利用者間の密を避ける。職員の業務については、送迎時のその都度の体温チェックや車両の消毒、定期的なホール内の消毒の実施。ボランティアなど外部からの来所制限。
25	外部との接触を避けるため、慰問活動やボランティア、大きな行事はなくなりました。送迎の手間も増えています。
26	出勤前の職員検温（家と出勤時の2回）・送迎に体温計携帯・全員マスク必須・施設内の消毒4回/1日 テーブルにアクリル板設置・カラオケなし・大声慎む・備品の消毒（毎回）きりが無いのでこへんで終わります。
27	出勤前の職員検温、送迎時に利用者の体温測定・手の消毒、送迎終了後や担当者会議等車の使用後の車内除菌、全員マスク使用、施設内の消毒1日3回、麻雀の中止、行事の縮小化等々、職員の負担は増えていますが冬に向けての換気が問題です。
28	カラオケや歌唱のレクリエーションが提供中止。
29	居住する市町村において感染者が一人も出でず、恐怖感を感じながらのサービス提供です。標準予防策等の感染予防をしながら、レクの提供等感染予防と効果をどう両立させるか個別に考えながら仕事をしています。
30	ボランティアが来ない。幼稚園生、踊等職員が代わりに行うが、代わり映えしない。食事席が離れ、会話が難しく静かに食事をさせてしまっている。ご利用者の役割が減ってしまった。味噌汁作り、配膳等
31	当事業所で変化した点は、ボランティアの訪問中止、運動系レクリエーションを中止し折り紙や創作、頭の体操系レクリエーシ

	ョン実施、パネル設置によりモニターが見えにくい席ができたため壁掛け型に変更、設備の消毒回数増、手指消毒回数増常時マスク着用等
32	送迎車の定員縮小・・・便数を増やして対応 食事スペース・・・対面での食事はしない、スペースを分散 レクリエーション・・・カラオケなどの歌唱系よりもの作りをメインに という感じで対応しています。
33	売り上げに関しては、コロナによる影響は少なかったが、感染予防としての経費が3倍以上に上った。「外から持ち込まない」を徹底し、玄関での封じ込めとし、施設内は安全区域として特に変えなかった。
34	コロナことで対応が変わりました。
35	ソーシャルディスタンスを取るための座席の変更、レクリエーションの配慮、マスク着用、消毒徹底、送迎時間の短縮など
36	通所介護を利用する利用者様が通いから在宅に訪問をいれるパターンになり新規の人数が減って、御家族のコロナへ対する懸念から利用する方が減ってきているのが現状です。また提供メニューとしてはレクが減り機能訓練が増えたと思います。
37	感染対策の拡充（マスク着用の徹底、消毒、換気、食事テーブルにパーテーション設置 等）レクリエーションの自粛（外出、おやつ作り、調理イベント、地域交流会（保育園・児童会館）、余興ボランティア等）
38	手洗い、うがいの頻度が増えマスクの着用を義務づけた。
39	送迎関係（検温、換気、消毒、マスク着用） 入浴関係（席を1つずつ空けて対応） 職員・利用者ともに基本マスク着用 入浴介助時は職員がフェイスシールド着用 飛沫感染防止フィルムの設置 座席の配置
40	送迎は一回で乗車人数を少なくして対応。ドライバーとの間に飛沫防止シート設置。ボランティアや近隣の保育園・幼稚園・学校との交流中止。カラオケなどの活動も現在は中止。食事介助はフェイスシールド着用
41	外出活動減ボランティア受入減 etc・・・
42	機能訓練の実施時に、従前であればグループ毎に実施していたメニューがあったが、デイルームの自席で行うように変更したり、入浴を少人数で行うようにしているので、それぞれ時間がかかるようになった。

43	飛沫感染対策で嚙下体操の内容を、パタカラ等発語が必要なものから、首や肩、背部のストレッチなど感染リスクの小さい内容に変更しました。カラオケレクを行わない様に変更しました。
44	4月から就労型デイサービスを始めました、当初は地域に出て働くことで要介護高齢者も社会に参加していただこうと考えていましたが、コロナ過で施設内で行う内職作業をメインにサービス提供しています。
45	送迎車両に三密をできるだけ防ぐため、少人数にして送迎回数を多くしている。
46	通所のセラピストが自宅訪問して機能訓練を行うサービスを提供することがあった レクリエーションでカラオケや適切な距離を保てない活動ができなくなった 機能訓練における外出が全くできなくなった
47	席の配置、食事と入浴以外はマスクの着用、送迎車での密を避けるため人数を制限、個別入浴、機械トレーニングは実施ごとに消毒と、感染予防に努め、ご利用者様にも協力していただき、サービスを継続している
48	レクリエーションの内容が変わりました。カラオケや手作りおやつなど、感染のリスクが高いレクは極力控えるようになりました。
49	利用者、家族の体調管理の徹底自宅での検温、通所時の検温で37.5℃以上の場合は受け入れを断る
50	お迎え時に検温の実施、乗車時に手指消毒、三密回避のデブール配置など感染リスクを低減する対応を行っていますが…
51	併設の保育園児との毎日のふれあい交流がなくなった
52	感染者が、地域に出たことで、提供時間を、短縮したり、週に1回の利用に減少依頼があった。
53	お客さまと一緒にしていたおやつ作りや調理がなくなりました。
54	感染対応はより徹底されています
55	半日の運動型ですので、運動のメニュー自体は変更はありませんが、大きな声を発する口腔体操や密になって談笑する恐れのあるお茶休憩を中止しています。
56	レクリエーションや機能訓練、運動について、より個別に対応することになった。以前は、食事は職員と同席にて取っており、見守り、会話を楽しみながら食べていました。現在は、見守りのみと

	しています。
57	3密を避けるのが大前提（不可能に近いが）であるため、マスクを外して大きな声を出すこと、物品を介しての活動、買い物訓練、送迎時の乗車時間の短縮など半年以上実施できておりません。
58	送迎車乗車前に検温。37.0 度以上は利用をお断りする。また、本人や家族が県外在住者と接触した場合は通所の利用を 2 週間自粛いただく対応をとっている。
59	送迎時に検温 37.5 度以上で利用お断り。県外へ本人が移動又は県外から来客があった場合、利用を 1～2 週間程度お断り。またマスク着用されない場合も利用お断りする。施設内でのサービス提供方法は変化なし。
60	送迎の際、密を避ける為に乗車率を下げた為、効率が悪くなった。夏祭り、敬老会等の各種行事は、ボランティアを招かず行なった。入浴は、午前と午後に分けたことで、レクの時間の職員配置が手薄となった。
61	席の配置を向い合せにせず一方向を向く教室スタイルに変えました。声を出すプログラムを減らし口腔体操をなくしました。皆さんで同時に触れるバルーンを使ったレクなども廃止しました。外出行事や季節の行事が出来ず、センターでの通常運営を継続中。
62	消毒方法の変更、薬品の見直し、体調管理の徹底、体調管理については以前に増してできており状態把握ができてよい。
63	口腔体操を食前に行っていたが、声を集団で出すのは飛沫感染の可能性があるので、声を出さない体操のみ行うことになった。カラオケ機具もあるが使用禁止となった。
64	有料老人ホーム内に 2 つのデイを併設していますが、1 つは老人ホーム入居者のみ、もう 1 つは外からの利用者のみと分けることにしました。それで、老人ホーム内に外部からウィルスを持ち込まない様にしています。
65	除菌、換気に今まで以上に気を付けています。マスクをつけた状態での介助が大変です
66	送迎者の利用者定員を最大 7 人→4 人へ変更。（送迎中は窓を開け換気）。お迎え時に家の前で検温し、37 度以上の場合は休んでいただく。職員も消毒薬を携帯。テーブルにもアクリル板を設置し飛沫感染対策を実施

67	カラオケ中止、密なサービスの稼働数減、感染予防策の手間増大、新規や県外家族の訪問等のコロナチェック作業、清掃増大
68	やはり、感染症対策として、今まで以上に手指の消毒・うがい・人と人との接触方法に気を遣うようになりました。また、テーブル・椅子等の消毒も使用後、習慣的にやるようになりました。それは、インフルエンザをはじめとする感染症予防対策に大きな効果がある
69	送迎車乗り込み前の検温、サービス提供中の定期的な換気（当地域では1時間に1回換気）、歌唱レクリエーションの自粛など。
70	ケアマネさんと連携して、気分が良い時は通所するなどの対応ができるようにした。ユーチューブの限定公開を利用して、オンラインデイを始めてみた。
71	利用者様への事前の体調管理（健康チェックシート記載）が厳格になった。また、車両の消毒作業や事業所内の消毒作業が徹底された。機能訓練を伴う外出がなくなり、地域の方々のボランティア活動がなくなった。
72	消毒業務、乗車前の検温
73	新しい生活様式に適合するようにサービスを提供する環境を変更しました。飲食時向き合わない、又はアクリル板を間に挟む。同じ方向をみて座れるような席の配置。大人数で触れ合うレクを小人数で行う等行ってます。
74	密を避けるため送迎車を1台増やした。サービス提供時間についてもできるだけ短時間でサービスを完結させ、15分ほどサービス時間を短縮せざるを得なかった。
75	モニター越しの面会になった
76	休業する事は、無かったが、今まで以上に、消毒、感染、を徹底した。且つ、行動範囲も限られた為、常に、もしかしたら、自分も保菌者かもと踏まえた行動をし利用者に対しては、とてつもなく配慮を行った
77	感染拡大がピーク時より、利用者受け入れを減らすことなく通所リハビリを通常営業継続している。変化内容は送迎車乗車時の検温、入室時手洗い消毒、昼食時の机配置変更、送迎車内の毎日の消毒。

(変わらない、に寄せられたコメント一覧)

1	感染対策以外は大きく変わりなし
2	検温や感染対策などは当然増えましたが、サービス内容は特に変わらずです。
3	いつも大変参考になる記事をありがとうございます。当地（浜松）は一時クラスターが発生した時は、周りは騒然となりましたが、その後落ち着いているため特にサービスへの影響はありません。
4	基本的なサービス内容は変わっていませんが、利用者に対して利用日や送迎の際に調整をお願いするなどの対応を実施しました。
5	サ高住勤務ですデイへの送り出しはこちらからですけどお帰り時はほとんどマスクをしていません(利用者が)車内の蜜の場所でしないのはよろしくないと思いますがなかなか聞き入ってくれないのは現実です
6	感染症対策でやるべきことは増えたがインフルの流行時にやっていたことが前倒しになっただけ。バタバタすることはなかった。
7	コロナを気にしては経営はできません。変わらないことが利用者の利益です。
8	コロナウィルス感染症以前より、手洗い・うがい・消毒はしっかりしていたため、実務的には手順の再確認と再徹底した程度です。

(どちらとも言えない、に寄せられたコメント一覧)

1	明らかに三密になるレクはなくなり、利用者にマスク着用を義務付けたりしている部分では変わったと思いますが、在宅で暮らしている方々を、デイに来た時だけ過剰に隔離や感染症対策を施すことにどれだけ意味があるのか疑問なため変わっていない部分も多い。
2	3密回避で送迎も少数で行う必要があり、事業所内ではスペースが不足するため、1日当たりの利用者数を減じている。カラオケの利用を中止しており、ボランティアも活動する方が減っている状況。冬を迎え感染の広がりが懸念される。
3	濃厚接触者である高齢者が通っていたデイやヘルパー事業所が

	一定期間閉鎖となった。その後コロナは落ち着き通所も再開された。他事業所や関係機関にも個人情報に留意ししっかりと情報伝えてくれた。信頼度が高まった
4	サービス内容は外出レクやリハビリ目的の散歩などはやりにくくなりましたが、マスクとクリア板を設置し対応している。山形は出していないこともあり、最近では平常運転に戻ってきています。
5	座席は今までは4人がけテーブルだったのが二人でそのテーブルを利用するようになったが、送迎車はマスク消毒のみで密室は変わりなく入浴時脱衣場は以前と何も変わりなく職員は洗身介助の時もマスク対応してる位です

(その他、に寄せられたコメント一覧)

1	通所介護では現在勤務しておりませんが、現在勤務している施設のショートステイへ、他のデイサービス利用だった方が増えているので、サービス利用の制限ができたり、閉鎖されるなど変わって来ているのだと思います
2	当方、機能訓練型デイサービスですが、以前と比べてサービス提供内容に変化は無いのですが、ご利用者様同士が接触しないように座席の距離を空けたり、テーブルを出さない様にしたり、空間除菌用の空気清浄機を購入等々の対策を行うようになりました。